

# コロナ禍における救急救命士教育体制



平塚消防マスコットキャラクター まっ平

平塚市消防本部 須藤 孝司

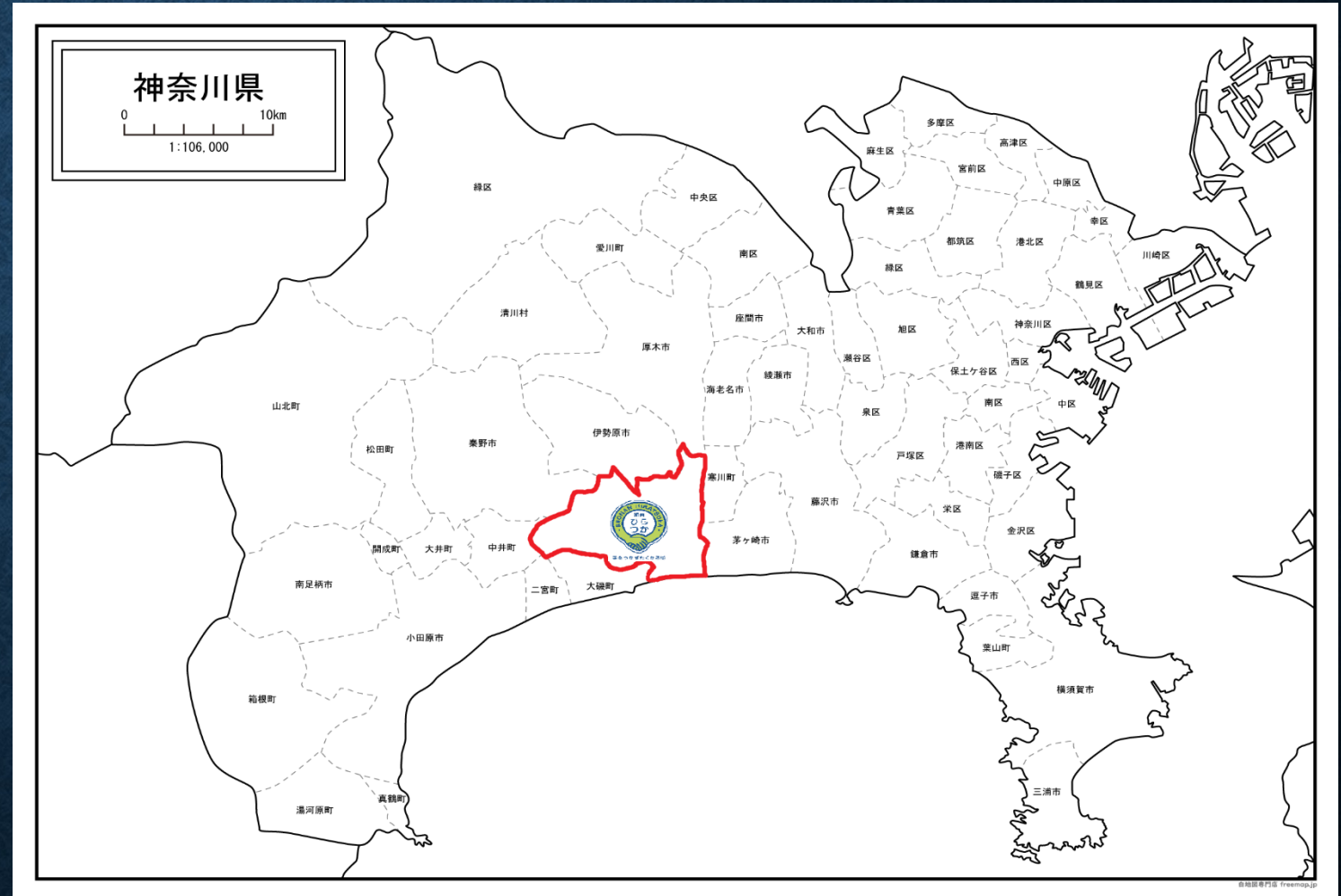
令和3年度全国メディカルコントロール協議会連絡会

令和4年(2022年)1月28日(金)

# 平塚市は神奈川県ほぼ中央南部に位置

平塚市人口 256,947人  
消防吏員 259人  
救急隊数 8隊  
救急件数 13,364件  
火災件数 51件

人口、消防吏員数は令和3年4月1日現在  
各出場件数は、令和2年中の件数



# 平塚市消防本部・消防署・各出張所・各病院

1 消防本部  
1 署  
6 出張所  
1 分遣所

市内救急病院  
・三次医療機関  
1 施設  
・二次医療機関  
2 施設



# 署内教育体制と病院実習体制について【コロナ禍前】

## 署内教育体制について

平塚市消防本部では、救急救命士を含む救急隊員に教育・指導を行う「救急技術指導員」制度を実施している。日々の業務の中で基本手技訓練、想定訓練に加え、座学の教育も行い、充実した教育体制を構築している。



# 署内教育体制と病院実習体制について【コロナ禍前】

## 病院実習体制について

- ・救急隊員は平塚市民病院での救急ワークステーション(派遣型)で実施  
(1年間で48時間以上実施、50人前後が実習)
- ・平塚市民病院では、救急ワークステーション実習の他、就業前病院実習、  
気管挿管病院実習(ビデオ喉頭鏡含む)を実施している。
- ・救急隊員以外(消防隊・救助隊)の救急救命士は  
平塚共済病院で実施  
(2年間で96時間以上実施、1年間で10人前後が実習)



# 新型コロナウイルス感染症がまん延して

- ・令和2年3月に平塚市で初の新型コロナウイルス感染症患者を搬送する事案が発生



- ・署内教育は部隊同士が集まる訓練を控えるよう指示



- ・病院実習は近隣市で中止する医療機関が相次ぐ



平塚市内医療機関での病院実習中止は時間の問題か？  
中止となれば救急救命士を含む救急隊員の教育体制の維持は？

# 署内教育・病院実習中止時の問題点

## 救急救命士の知識・技術の低下

- ・平塚市消防本部の救急救命士有資格者は86人  
警備課で現場対応している救急救命士は68人
- ・署内教育を中止 ➡ 救急技術指導員から直接指導を受けることができない
- ・病院実習を中止 ➡ 医師から直接指導を受けることができない

## 救急現場での医療行為に不安

- ・湘南地区MC協議会では2年間で96時間以上の病院実習が必要
- ・救急隊員が行う医療行為の技術の低下が懸念され、その結果、傷病者に不利益を及ぼす可能性がある。



# 署内教育体制と病院実習体制について【コロナ禍】

## 署内教育体制について

- ・救急技術指導員から新型コロナウイルス感染症に対する正しい知識を教育
- ・基本手技訓練、想定訓練は高度シミュレーター人形を2体追加整備し、部隊が1箇所集中することを防止

## 病院実習体制について

- ・平塚市民病院救命救急センター医師からは

「医師も看護師も救急救命士も同じリスクを負っている。このような状況だからこそ、病院実習は継続した方が良い。」



「感染防止対策を徹底」し病院実習の継続を決断



# 病院実習中のルール

平塚市民病院 感染対策室感染管理特定認定看護師と連携



- ・実習前に体調をチェック → 発熱等があれば実習不可とする
- ・処置室に入るときは標準予防策の徹底
- ・マスクを外している時間は会話をしない
- ・食事は待機室で個別に摂る



# 署内教育体制と病院実習体制について【現在】

## 署内教育体制について

- ・2隊集まったの基本手技訓練、想定訓練を実施
- ・高度シミュレーター人形が合計3体となり、出場の合間や帰署途上を含めいつでも訓練可能

## 病院実習体制について

- ・現在も感染防止対策を徹底し継続



# 考察

- ・署内教育については、感染防止資器材、訓練資器材を整備



コロナ禍前よりも、充実した訓練が実施

- ・病院実習についても、コロナ禍でも継続



知識・技術の維持が図られ、感染症が拡大する中でも救急隊員の更なる成長

医療機関の協力を得て、コロナ禍でも教育体制を停滞させることなく、前進させることができたことは大きな成果だと考える。

# 終わりに

## 平塚市消防本部の救急搬送患者病院受け入れ状況について (令和2年中)

- ・救急搬送全体で1回目收容率95%
- ・平塚市民病院は1回目收容率99%

## コロナ禍において

- ・病院側の受け入れ拒否による不搬送なし
- ・救急搬送困難事案なし



平塚消防マスコットキャラクター まとっ平

# コロナ禍前から顔の見える関係を構築

平塚市消防本部では、医師、看護師、研修医の受け入れを実施

- ・消防指令センター研修（医師、看護師）
- ・救急車同乗実習（研修医）

コロナ禍前から顔の見える関係を構築できていたことが  
病院実習の継続になった要因の一つ



ご清聴ありがとうございました。

